こどもむけ としょかんだより

ポケット　６月号

2024/6　No. 277

こうらちょうりつとしょかん　でんわ：３８-８０８８　ファックス：３８-８０８９

図書館ホームページで、カラー版を見ることができます。　ＨＰアドレス： http：//www.koura-lib.jp/

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6 西小 いどう図書館	7	8 おはなし会	9
10	11	12	13	14	15 ぴよぴよひよこのおはなし会	16
17	18	19	20 西小 いどう図書館	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

あいている時間：水・木・金　午前１０時から午後６時
土・日　午前１０時から午後５時

色のついている日は、お休みです

６月のイベント

- ６月　８日（土）午前１１時～　おはなしかい（小さなお子さんから参加いただけます）
- ６月１５日（土）午前１１時～　ぴよぴよひよこのおはなしかい
- ６月２２日（土）午前１０時～　ざっしリサイクル

ざっしリサイクル

古くなったざっしやほんをおわけします。
ひとり５冊までえらべます。
と　き：６月２２日（土）１０：００～
ば し ょ：図書館１階　おはなしのへや
※おはなしのへやを使う日はろうかに出します

４月27日（土）に「子ども読書の日記念おたのしみ会」をしたよ！

おはなし会では大型絵本の読み聞かせをしたよ。工作会ではポンッポンッと音がはじける「ポップコーンドラム」を参加したみんなが楽しそうに作ってくれたよ！図書館には楽しい工作の本も、たくさんあります。ぜひ、借りてみてね。

くらしのなかに としょかんを　こうらちょうりつとしょかん

あたらしく入った本

えほん

おいしいぱんぱんでんしゃ	五味　ヒロミ	フレーベル館	あか・あか
かるがもひなちゃんおんなじおんなじ	かんちく　たかこ	アリス館	き・あか
こいぬをつれたかりうど	牧野　夏子	福音館書店	き・あか
せっけんアワー	かねこ　まき	文研出版	あお・あか
ないたにわとり	スズキ　トモコ	ひかりのくに	みず・あか
ぼくのおうちわたしのおうち	たけうち　ちひろ	世界文化ブックス	ちゃ・あか
もったいないばあさんのおばあちゃん	真珠　まりこ	講談社	もも・あか
リトル・マーメイド	サラ・ギブ	文化学園文化出版局	だいだい・あお

よみもの

真実の口	いとう　みく	講談社	Ｆ イト
キミの知らない恋の物語	万城目　学	汐文社	Ｆ キミ
正射必中！弓道部	斎藤　貴男	新日本出版社	Ｆ サイ
ロボットのたまごをひろったら	奈雅月　ありす	ポプラ社	Ｆ ナガ
たとえリセットされても	森川　成美	文研出版	Ｆ モリ
あしたをみがけ	横沢　彰	新日本出版社	Ｆ ヨコ
あなたの言葉を	辻村　深月	毎日新聞出版	914 ツジ

そのほか

おとうとのねじまきパン	高橋　うらら	合同出版	210 タカ
小学校の生活ずかん	はまの　ゆか	Ｇａｋｋｅｎ	376 シヨ
恐竜ハンター	土屋　健	KADOKAWA	457 キヨ
ロボットのずかん	本田　幸夫	金の星社	548 ロボ
いぬのずかん	ｓａｋｉｏ	Ｇａｋｋｅｎ	645 イヌ
正解のない絵画図鑑	鮫島　圭代	幻冬舎	720 サメ

ほかにも、あたらしい本がはいっています。図書館いりぐちの本だなも見てくださいね。

『あめのひ』

サム・アッシャー

＜徳間書店＞

あか・あお

朝、目がさめると雨がふっていた。おじいちゃんはうちにいなさいというけど、男の子は外で遊びたくてたまらない。
ようやく雨がやんでおじいちゃんといっしょに外にでると、そこには楽しいせかいがまっていた！

『ふしぎなかさやさん』

たなか　鮎子

＜講談社＞

ちゃ・あか

雨の日、レミはしゃべる黒ねこがいるふしぎなかさ屋さんに入った。お店にあるかさをひらくと、森やさばくなどいろいろな世界が広がった。ところが、真っ黒いかさをひらいたとたん、大きな黒い雲が広がって…。

『ぽんぽこあめふり』

田中　友佳子

＜徳間書店＞

ちゃ・あか

こだぬきのぽんたが森のひろばで遊んでいると、雨がふってきた。「もっと遊びたかったなぁ」と思っていたら、「あそぼうよ」と雨ふりこぞうに声をかけられる。一緒に池で遊んでいると、すもうの相手を探しているかっぱもやってきた。

『みずたまり』

アデレイド・ホール

＜好学社＞

もも・あお

大きな水たまりをのぞきこんでいる、どうぶつたち。
口々に、「どうぶつたちがおっこちている!」「だしてあげなきゃ!」とさけんで大さわぎ。すると、太陽が雲の間から顔を出し、じめんをてらしはじめました。

『机の下のウサキチ』

岡田　淳

＜偕成社＞

Ｆ オカ

大雨の日、ひとりでるす番をしていた一平はおじいちゃんの古い机の下から、ふしぎな野原に迷いこんだ。
そこで出会った大きなウサギのウサキチは、まるで友だちのように一平に話しかけてきた。ふたりは、ウサキチが失くしたはねる力を取りもどすためにさいはてヤマへ向かう。

『風のことば空のことば 語りかける辞典』

長田　弘

＜講談社＞

911 オサ

雨がふってやることがない、そんな日はおうちで詩を読んでみましょう。短い文にこめられたその人の気持ちや物語を味わうときっと新しい何かに気づけるはず。絵がついていて読みやすい詩集です。

『もしも地球がひっくり返ったら』

川村　康文

＜学研プラス＞

404 モシ

もしも地球がひっくり返ったら？ もしもカミナリの電気をあつめたら？　もしも何年も雨がふりつづいたら？　ありえないけどありえるかもしれない、そんなあらゆる「もしも」を科学的な理由をもとに説明します。

『水はどこからやってくる？』

浜田　久美子

＜講談社＞

652 ハマ

わたしたちの生活にかかせない水。水はどこからやってくるか知っていますか？実はふかふかの森の土がきれいな水を生み出してくれています。そんな、森の土が水をきれいにして、生き物を豊かにし、土砂災害など災害を起こしにくくする仕組みについて説明します。